

芦屋町教育委員会会議録

令和6年第7回定例会

日 時 令和6年7月4日(木) 10時00分 ～ 10時55分

場 所 芦屋町役場3階 課長会議室

「出席委員」	委 員	長 戸 隆 弘
	委 員	井 上 弘 行
	委 員	森 山 真 奈 美
	委 員	佐 伯 慎 也
	教 育 長	三 柘 賢 二

「委員以外の出席者」	学校教育課長	木 本 拓 也
	生涯学習課長	本 石 美 香

「書 記」	学校教育係長	原 田 聡 太
-------	--------	---------

「議事日程」

第1 会期の日程

第2 会議録署名委員の指名

第3 教育長提出議案

第4 協議事項

○芦屋町基地対策協議会委員の推薦について

第5 報告・連絡

○あしやハンズ・オン・キッズ事業児童参加状況等について

○佐野市青少年交流事業児童・生徒参加状況等について

○7月、8月の行事予定について

第6 その他

「開会宣告」

○教育長 ただいまから令和6年第7回芦屋町教育委員会定例会を開会します。

— 開会宣告 10時00分 —

「会議録署名委員」

○教育長 本日の署名委員は、長戸委員と森山委員にお願いします。

第3 教育長提出議案

○教育長 本日提案の議案はありません。

第4 協議事項

●芦屋町基地対策協議会委員の推薦について

○教育長 芦屋町基地対策協議会委員の推薦について

○学校教育課長 (芦屋町基地対策協議会委員の推薦について説明※資料のとおり)

「概要」芦屋町基地対策協議会委員の推薦について、町から依頼を受けています。任期は令和6年7月1日から令和8年6月30日までの2年間です。これまでは、佐伯委員を推薦しています。委員の皆さんのご異存がなければ、再度佐伯委員をお願いしたいと考えています。

○教育長 佐伯委員、よろしいでしょうか。

○教育委員 はい。

○教育長 委員の皆さんのご異存がなければ、佐伯委員を再度選出することとしてよろしいでしょうか。

— 満場一致で承認 —

第5 報告・連絡

●あしやハンズ・オン・キッズ事業児童参加状況等について

○教育長 あしやハンズ・オン・キッズ事業児童参加状況等について

○生涯学習課長 (あしやハンズ・オン・キッズ事業児童参加状況等について説明。※資料のとおり)

あしやハンズ・オン・キッズは、町内在住在学の小学4年生から6年生までを対象に、定員を32人として募集を行いました。第一次募集で20人の応募がありましたが、募集定員に達していませんでしたので、第二次募集を行ったところ、最終的に32人の応募がありました。

年間の活動予定については、6月12日に開講式と保護者説明会、29日に第1回目の活動として、夏井ヶ浜での磯遊びを行いました。7月以降毎月事業を行っていきます。8月のサマーキャンプは、子どもたちの状況や昨今の猛暑を考慮して、2泊3日に短縮して実施します。

3月15日(土)に閉講式を予定しております。

参加者は、男子11人、女子21人の合計32人です。学年別では4年生が15人で最も多く、続いて5年生が13人、6年生は4人です。

○教育委員 芦屋小学校区からの参加者が少ないですね。

○生涯学習課長 後程説明いたします佐野市との青少年交流事業も芦屋小学校区からの応募者はいない状況で、ハンズ・オン・キッズ事業でも芦屋小学校区からの参加者が少ない状況です。

このことについて、学校教育課と話したところ、芦屋小学校では英検の受験者数は3小学校の中で一番多いと伺っています。子どもたちや保護者の意向というところもあるのかなと考えております。

- 教育委員** 保護者の意向もあるかもしれませんが、学校としての働きかけなどに学校間で差があるのかなと思います。例えば、校長先生が働きかけをする中で、何か効果的なことがあれば、先生同士で共有してもらえたらいいなと思いました。
- 生涯学習課長** 中央公民館での学び合いルームで、連続して芦屋小学校の先生が2人来られています。先生が来られていると、こどもたちの気持ちへの効果もあります。こどもたちへの注意や指導において、先生がお手本のよう形で動いていただいているので、学生ボランティアにも良い刺激になっているようです。教職員についてはできる範囲での参加をお願いしているところですが、芦屋小学校の先生がこのまま続けて来ていただければ、こどもたちも継続して参加してくれるようになるのかなと、期待をしているところです。
- 教育長** 少し補足説明をさせていただくと、芦屋小学校の校長も、いつも芦屋小学校の児童の参加者が少ないという評価になっていることについては気にされており、校内で働きかけはしています。学校教育の基本は、学校の教育活動がどういった形で行われているかということです。学校の教育活動も社会教育活動もどんどん参加をするというのが理想的であると思いますが、その辺りは校長にお任せして、出た結果がこれだと思っていますので、社会教育分野での参加者が少ないからといって学校の評価を云々するものではないと考えています。
- 教育委員** なかなかここは難しいところですが、本当にいい事業なので参加して欲しいですね。小学校区ごとに参加者数にばらつきがあるのは、仕方がないという気もします。芦屋小学校の児童が大人しいのでしょうか。
- 教育委員** すごく大人しいという印象はそんなにはないですが、友達が1人参加すると手を挙げたら、それにつられて行くような感じもあるのかなという気がしていますが、そういうことがないということでしょうか。
- 生涯学習課長** 芦屋東小学校は参加者が多いのですが、こども同士で誘い合わせて参加しているのかと思っていましたが、実際に開講式の時にこども同士で「○○ちゃんも参加してたの」というやりとりがあっており、誘い合わせではなく、自分の判断で来ているようです。一方で芦屋小学校は、「○○ちゃんが行かないなら、私も行かない」といったところもあるかもしれません。
- この状況は、芦屋のこどもに限らず、大学生の中でも同じようなことがあるようです。何かのボランティア活動で学生さんにお声かけをしたりすると、「自分1人では参加しづらい。誰とかと一緒になら…」という傾向が見えてきていて、そういった不安というものもあるのかなと感じています。この点については本人たちに直接聞いたわけではありませんが、1学年1学級という中で、参加して学級内の友達がいないと、全く知らない他校の児童と一緒に活動するのはためられるということがあるのかなと感じています。
- 教育長** 定員を満たしていることすし、それぞれの学校の中でいろいろな特

色があるわけですから、今年はこのメンバーでハンズ・オン・キッズ事業を行うことになりました。

●佐野市青少年交流事業児童・生徒参加状況等について

- 教育長 佐野市青少年交流事業児童・生徒参加状況等について
- 生涯学習課長 (佐野市青少年交流事業児童・生徒参加状況等について説明。※資料のとおり)
- 佐野市青少年交流事業について、今年度は芦屋町から佐野市に訪問をする年で、8月7日(水)から9日(金)の2泊3日で実施します。参加対象は、小学校5年生から中学校2年生まで、定員は双方の市町でそれぞれ16人として、募集をしました。
- 研修プログラムについて、7月10日(水)に保護者説明会を行い、事前研修を7月24日(水)と31日(水)の2回実施し、2回目の事前研修の際には出発式を行います。本研修を経た後、8月31日(土)に事後研修、9月7日(土)に報告会を予定しています。
- 申し込み状況について、芦屋町からは12人の応募がありました。佐野市側も12人の参加予定であると伺っております。
- 昨年度は芦屋町が佐野市のこども達を受け入れる予定でしたが、台風接近のため中止となりました。今回は令和元年度以来5年ぶりの開催となります。
- 教育長 報告説明がありました。委員のみなさんから、ご意見ご質問がありませんか。
- 教育委員 募集定員が16人に対して応募者が12人ということですが、追加募集をする予定はありますか。
- 生涯学習課長 佐野市側と最低何人集まれば実施できるかについて協議を行い、最少人員を双方の市町で6人ずつと設定していました。今回は12人の応募でしたので、このままの人数で実施することとし、追加募集は行っておりません。
- 教育委員 芦屋町から引率する人は何人ですか。
- 生涯学習課長 引率者については、最大で4人引率ができるように予算措置をしています。代表者の団長という立ち位置の職員と、その他スタッフが引率する形です。引率者のうち1人ないし2人これまでに青少年交流事業を経験したことのある人をお願いするため、現在声かけをしています。佐野市側でもボランティアスタッフが1人ないし2人参加するということですので、ボランティア同士の交流というところも、この事業のポイントとして考えているところです。
- 教育委員 団長は、生涯学習課の職員がされるのですか。
- 生涯学習課長 私が団長として行く予定ですが、私が行くことができない状況になりましたら、社会教育係長が団長として引率をする予定です。

●7月、8月の行事予定について

○教育長 7月、8月の行事予定について

○学校教育課長 (7月、8月の行事予定について説明 ※資料のとおり)

○生涯学習課長 (7月、8月の行事予定について説明 ※資料のとおり)

8月1日から9月15日まで、ギャラリーあしやで「THORES(トーレス) 柴本さんの作品展示」を行います。

世界的に有名な「トリニティ・ブラッド」という作品の著者である吉田直さんのご遺族から、多数の本などを町へ寄贈していただいているのですが、今回「トリニティ・ブラッド」の表紙画などを描かれているTHORES 柴本さんから吉田さんのご遺族へ版画の寄贈があり、ご遺族は多くの方に見ていただきたいからということで、その版画を芦屋町図書館へ寄贈してくださいました。

このことを受け、作品展示を行うことになりました。現在、図書館の方で準備を進めているところです。

チラシ等々できましたら、委員の皆様へご案内いたしますので、ぜひご来館いただければと思います。

○教育長 8月21日(水)にあしや夢リアホールで、遠賀郡の教職員研修会を予定しています。小中学校の先生方が500人程度集まる研修会ですが、今回は大阪大学名誉教授の小野田先生をお招きして保護者対応についてのいろいろなお話をしていただくことになっています。

第6 その他

○生涯学習課長 明日、7月5日(金)午後6時30分から町民会館で人権講演会、映画上映会が行われます。今年度のテーマは同和問題で、一昨年作成されました、島崎藤村原作の「破戒」という映画を上映いたします。ぜひお越しください。

○学校教育課長 7月9日(火)に行います芦屋東小学校の学校訪問資料をお配りしています。7月8日(月)に行います芦屋中学校分の資料につきましては、でき上がり次第お届けいたします。

●7月1日の大雨について

○教育委員 7月1日の大雨で、遠賀町、水巻町、岡垣町では学校を臨時休校していましたが、芦屋町ではどうでしたか。

○教育長 特に問題はありませんでした。学校教育課の課長と係長に朝7時頃から山鹿小学校の裏門から続く通学路の警戒にあたってもらいました。その時の様子を課長から報告してください。

○学校教育課長 7月1日は未明から大雨が降っている状況で、山鹿小学校の裏門から長崎海産に繋がる道路が冠水する恐れがありましたので、朝7時頃から私と係長、山鹿小学校の校務員とで、警戒のため約1時間立哨しまし

た。その間、この通学路を使わずに迂回して登校するように児童を誘導していました。

なお、この日は町内の小中学校は通常登校としていましたが、通学路の状況によっては、保護者の判断で午前10時までに登校させるようにという内容を、各学校から保護者へスクリレでお知らせしました。

○教育長

この日は月初めのあいさつ運動の日でした。私は芦屋中学校に立っていましたが、生徒たちは保護者の車で送ってもらっていました。

各学校からも、大きな混乱はありませんでしたが、車で送ってもらう児童が多かったと報告を受けています。

●いじめ、不登校の状況について

※本件については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき、公開しないものとする。(生徒指導に関する案件のため)

— 満場一致で承認 —

「閉会宣告」

8月の定例会は8月2日（金）午前9時から開催します。

9月の定例会は9月3日（火）午前10時から開催します。

— 閉会宣告 10時55分 —

会議録署名人

教育委員

教育委員

学校教育課長